PIEGA User Manual

General user's manual
for all PIEGA loudspeakers

“音楽を奏でる“、それはスピーカーシステムに課せられた
唯一の真なる命題です

この度はPIEGAのスピーカーシステムをお選びいただきまして誠にありがとうございます。本製品は、我々の20年間に及ぶ研究開発、そしてデザインに関する最高水準の技術を具現化した製品です。我々は、この新しいPIEGAスピーカーシステムをお使いいただくことで、お客様が音楽を聴く喜びを享受されることを切に願います。

我々が考える優れたスピーカーシステムとは、音楽とリスナーとのふれあいを妨げないものです。スピーカーシステム自体が独自の音を加えないもの。それは、正確に、そして、自然に、コンサートやレコーディングスタジオで演奏されたものをリスナーのもとへ運びます。1986年以降、我々はこの理想を現実のものへ仕上げるために最善を尽くして参りました – それには開拓者的な精神、創作力と厳しい技巧が必要なのです。

ご使用になられる前に本取扱説明書をお読みください。
スピーカーは重量もあり、また、非常にデリケートな製品です。開梱やセッティングをされる場合には、十分お気を付けください。

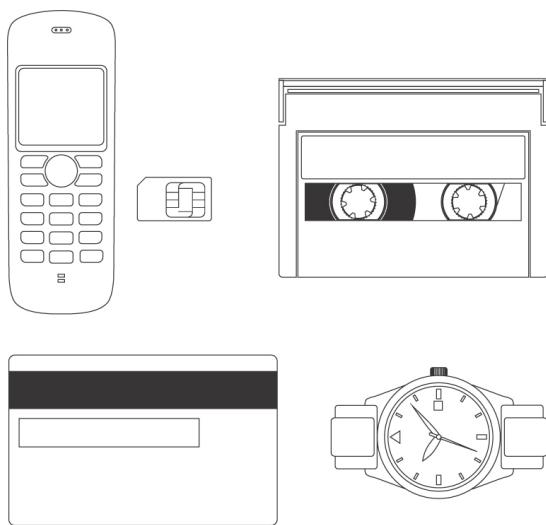
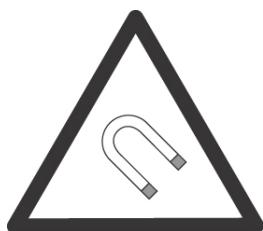
PIEGA SA – Horgen, Switzerland

目次

本取扱説明書では、PIEGAスピーカーシステムをオーディオシステムへ接続するときの方法や、さまざまな住環境において最適な設置を行うために役立つ情報、また、日常における手入れ方法などを記載しております。さらに、梱包を解いてスピーカーシステムを取り出すときにご注意いただきたい情報も含みます。

ご使用の前に

本取扱説明書をよくお読みいただき、以下の点にご注意ください。

安全注意事項/警告：

下記の指示を厳守の上、PIEGAスピーカーシステムを正確に取り付け並びに設置、そして接続ください。

PIEGAスピーカーは、乾燥した10〜40℃の温度範囲の室内でのご使用をお願いいたします。

MasterOne、CL120X、Coax、Premiumシリーズをお使いのお客様の場合、
スピーカーユニットが近くにある金属などを引き寄せてしまうような強い磁力を発生しています。
腕時計や他の装飾品などを身につけた状態で、決してスピーカーユニットのそばには近寄らないようにしてください。

特にMasterOne、CL120X、Coax90.2、Coax70.2、Coax30.2、Coax10.2に搭載されているリボントゥイーターの近くに磁力に引き寄せられるのがある場合には、引き寄せられた金属によってリボン振動膜を傷つけたり破ったりしてしまう可能性がありますのでご注意ください。（この場合の修理保証は対象外となります）

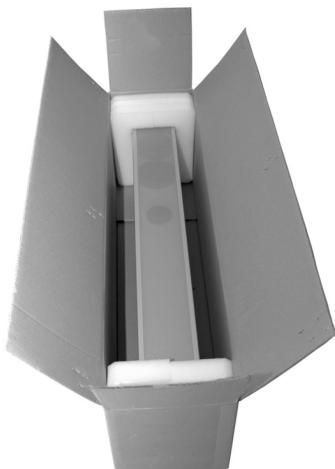
クレジットカードや各種ICカードのような、外部の磁気に弱いものはスピーカーユニットの近くに置かないでください。記録されているデータが消失する恐れがあります。

注意！:

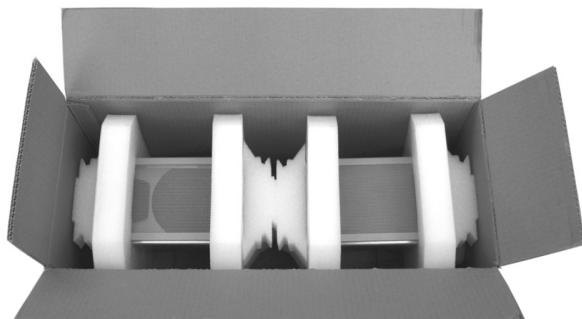
スピーカー前面のグリルを外してご使用の場合、お子様やペットなど、指などを低域ユニット下部にあるスリットに差し込まないようにご注意ください。開口部のエッジで指を傷つける可能性があります。また、内部に物を入れてしまわないようにご注意ください。

製品の取り出し方法

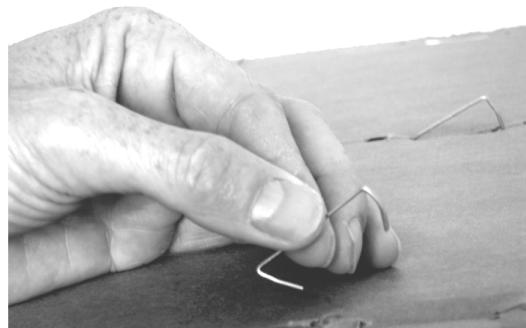
輸送時のダメージを防ぐために、PIEGAスピーカーには厳重な梱包が為されています。製品本体を梱包から取り出す際に、あらゆる損害から守るために下記の指示に従ってください。

手順:

製品を取り出すときには、不注意による損害を避けるために周囲に広い場所を確保した上で、できれば二人以上で作業してください。
梱包する前に、腕時計、指輪、ブレスレット等の貴金属を外し、ベルトのバックル部分等も保護してください。アルミニウム製の本体を傷つける恐れがあります。

梱包箱の指示に従って梱包を解き、金属の留め金を丁寧に取り外した上で、製品本体とクッション材を持ち上げて取り出してください。

慎重に、製品上部へ引き寄せるように保護クッションと保護ラッピングを除去してください。

ご注文いただいた製品と開梱された製品が一致していることと、輸送中に損傷を受けていないことを必ずご確認ください。

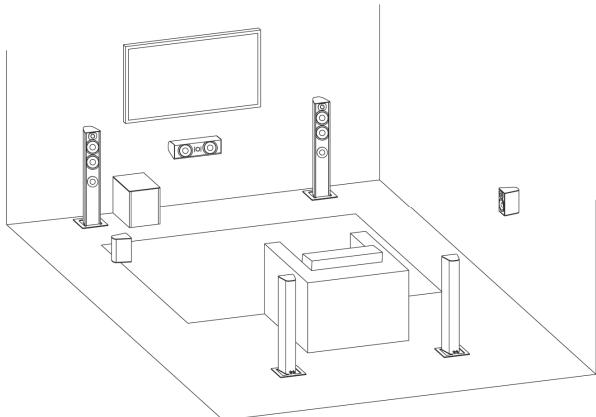
万一、製品の不一致や損傷を発見した場合には、直ちに製品をご購入いただいた販売店にご連絡ください。

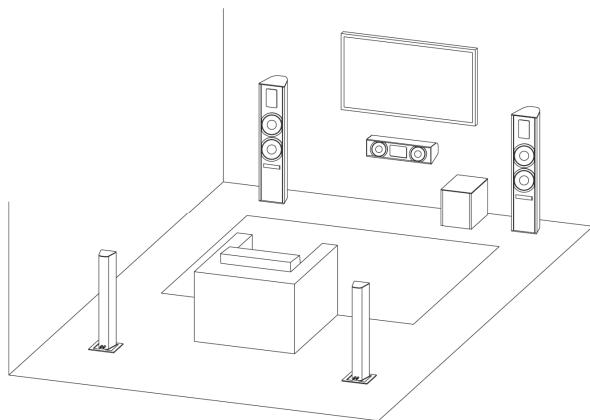
注意！:

PIEGA製品のキャビネットは、磨き抜かれたアルミニウムによって作られています。包みを解くときにはくれぐれも慎重にお取扱いください。

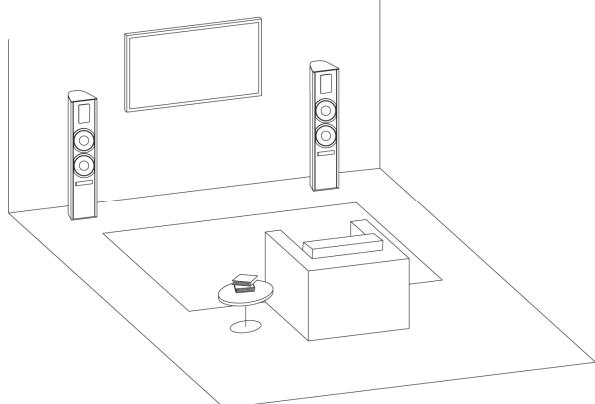
使用方法

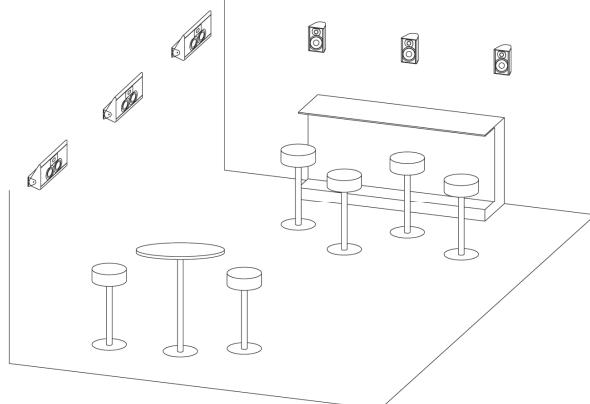
PIEGA製品には、フロアスタンディング型、サテライト型、そしてセンター設置型といった種類があります。シリーズによっては、これら3種類のスピーカーを含むものもあります。製品ラインナップはグレードや設置タイプに応じてTMicroシリーズ、Premiumシリーズ、Coaxシリーズ、AP/ASシリーズ（壁付けスピーカー：受注発注）、といった分類となり、同シリーズ内ではトゥイーターの種類（ソフトドーム、リボン）は基本的に共通となります。2chステレオシステム、ホームシアターなどのマルチチャンネルシステム、バーやレストランなどの壁付け音響システムなど、製品をいかようにも組み合わせてお望みの設置を行うことが出来ます。以下は推奨案となります。

マルチチャンネルシステム

例：　TMicro6, TMicro4 and TS4C, PS1

マルチチャンネルシステム

例：　CX70.2, PM5.2, TC40CX and PS1

ステレオ2chシステム

例：　CX70.2, CX90.2

店舗用音響システム（バーなど）

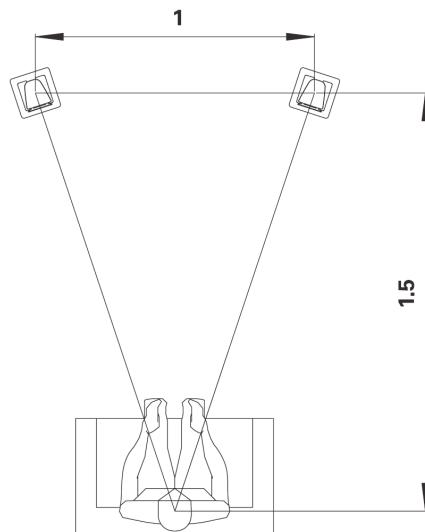
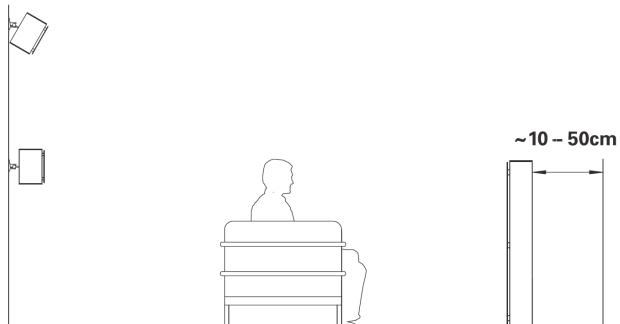
例：　TP4C, PM1.2 and AP3

設置位置

よりよい再生音響のためには、正しい位置決めとスピーカーの選択が肝心となります。

2chステレオ再生のためには、なるべく左右のスピーカーの設置条件(周囲の環境も含めて)を同一とした上で、スピーカーの設置位置は三角形の短辺側の各頂点、聴取位置は向かい合った頂点の位置にされるとよいでしょう。

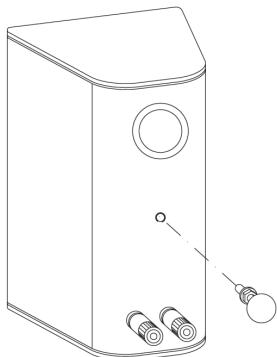
マルチチャンネルシステムでは、フロント、センター、リアスピーカーは、聴取位置からできるかぎり等距離に設置されるとよいでしょう。

2chステレオ再生

スピーカー同士の間隔と聴取位置への距離は二等辺三角形（比率1：1.5）を作られるとよいでしょう。

壁からスピーカーまでは最低でも10cm、
できれば50cm程度は離すようにしてください。

備考: トゥイーターの高さと、聴取位置での耳の高さを合わせることで、よりよい結果を得ることが出来ます。

壁付けの設置

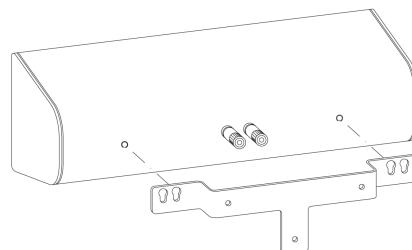
PIEGAのサテライト型やセンター型のスピーカーは、壁や天井に取り付けてサラウンド用や店舗用の音響として使用することが出来ます。取り付けには専用の取り付け用ブラケットが用意されています。

壁付けブラケット1–a

- 六角ネジを取り外します
- 丸い頭がトゥイーターブラケット金具を、スピーカーのネジ穴へねじこんで、ナットで固定します

壁付けブラケット1–b

- ブラケット金具の丸い頭の部分を、壁付けブラケットに挿し込みます
- スピーカーの傾きや方向を決めてから、挿し込んだ部分を六角レンチで動かないように固定します
- スピーカーが動かないことを確認してください

壁付けブラケット1–c

- 壁付けブラケットを指定の位置へ取り付けて、取り付けネジで（アンカーも使用して）しっかり固定します

壁付けブラケット2

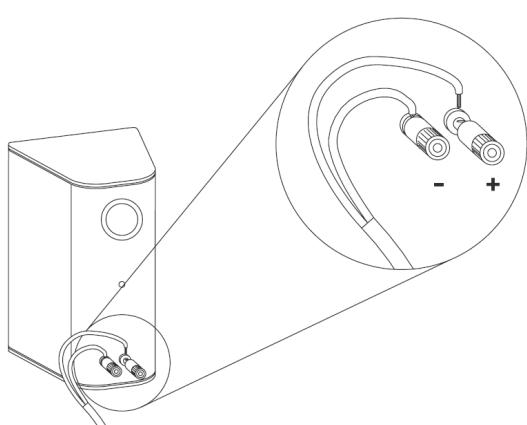
- ブラケットが壁にしっかり固定されていることを確認してください
- スピーカーの六角ネジを抜いてください
- センタースピーカーを壁付けブラケットに取り付けてください
- 再度六角ネジを締めこんでください

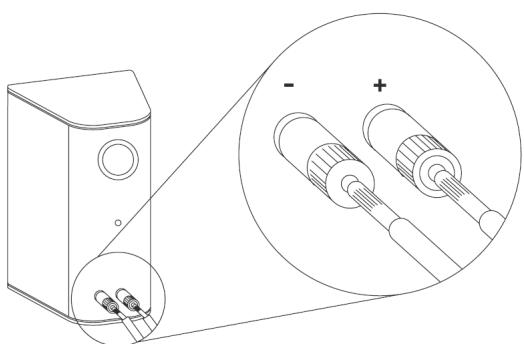
注記: 取り付けブラケットを使用するときには、販売店や施工業者の意見を聞きながら作業を行ってください。

スピーカーの接続

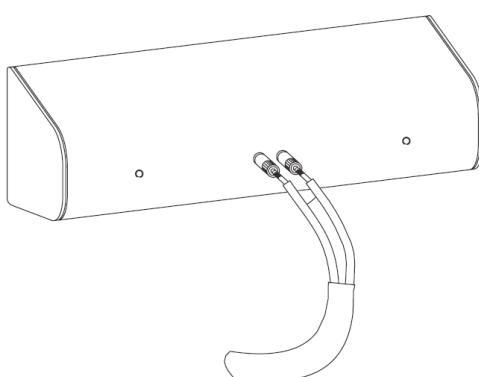
スピーカーケーブルを接続するための端子は、スピーカーの背面にあります。これには、Yラグやバナナプラグで端末処理されたケーブルでも、バラ線のままのケーブルでも接続することが出来ます。

PIEGAには純正のアクセサリーとしてOPUS3/OPUS1というスピーカーケーブルがありますので、このケーブルを使用していただくことが理想的です。

接続について:

スピーカーへケーブルを接続する前に、使用するアンプの電源が切られていることを確認してください。PIEGAのスピーカーは使用するアンプの推奨出力を指定していますので、参考にしてください。もし、使用するアンプの出力や用途について確証が持てない場合は、販売店や輸入代理店へご質問ください。

PIEGAのスピーカーが持つインピーダンスは４Ωです。標準的なアンプであれば問題なく接続できますが、確証が持てない場合は、販売店や輸入代理店へご質問ください。

図を参照して、アンプやレシーバーなどとスピーカーをケーブルで接続してください。

Ｙラグやバナナプラグで端末処理を行った、PIEGA OPUS1/OPUS3 SPケーブル（オプション）を使用することが最も理想的となります。

注意事項:

ケーブルの+−(red/black)を逆に接続しないようにしてください。逆に接続した場合、低音が弱くなると同時に、音場が広がりすぎた焦点の定まらない音となります。

スピーカーの慣らし期間について

スピーカーシステムは、いくつかの異なる構成要素からなる機械式変換機です。そのため、個々の要素の物性が馴染みスムーズに動くようになるまでには、一定期間のランニングが必要となります。通常ですと10日間程度のランニングで音の変化は落ち着くと思われますので、設置後のファーストインプレッションだけで判断せずに気長にお待ちください。また、音の変化が落ち着いたのを見計らってから、微妙なセッティングの調整などを行うようにしてください。

推奨するランニング方法:

鳴らしはじめから一週間程度は、あまり音量を大きくしないで通常の音量でお聞きください。大きくしすぎるのは禁物です。また、なるべく広範な種類の音楽を再生するほうがよいでしょう。

制限事項：

使用するアンプの推奨出力は20–250Wです。これ以上の出力を持つアンプをフルボリューム近辺で使用することは絶対におやめください。もし、このようなことを行ってスピーカーに損傷が与えられた場合はすぐに原因が特定されます。その場合、PIEGAはいかなる保証主張に対しても責任を持ちません。

注記:

極端に音量を上げてしまうと、ご試聴される方の健康にダメージを与えることがあります。耳のためにも許容できるボリュームレベルで音楽を聞いてください。

通常のお手入れ

開発から生産、正確なテストの段階に至るまで、PIEGAは最高品質の材料と構成要素を使用しています。

新しいPIEGAスピーカーは、磨かれたアルミニウムによって筐体が出来ています。この素材は柔らかく傷つきやすいものですので、取扱いには十分ご注意ください。

お手入れ方法:

柔らかい布で、筐体表面のほこりなどをふき取ってください。また、汚れの場合は必要に応じて、窓拭き用の洗剤などをスプレーした柔らかい布を使用してふき使ってください。

アルコールやシンナーなどの溶剤は決して使用なさらないようにしてください。また、同様にコンパウンドなどが含まれた布なども決して使用なさらないでください。

注意:

小さいお子様やペットがスピーカーユニットを傷つけたりするのを防ぐために、前面のグリルは取り外さないようにしてください。

リボントゥイーターの表面には決して触れないようにしてください。

保証について

PIEGAスピーカーの内部に触れることは絶対におやめください！！

PIEGAスピーカーの保証期間はご購入日から5年間ですが、以下の場合は保証の対象にはなりませんのでご注意ください。

1) ご使用上の誤り、お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる損傷、自然災害（地震、落雷、洪水などや火災）による損傷
2) シリアル番号が変更されている、もしくは無い場合
3) 取扱説明書、保証書に記載されている範囲外の操作が行われた場合
4) 不当な修理や改造を行った場合